



日本共産党文京区議会議員

mandatedachi 幹夫 通信

2008年5月16日号 No.49

みなさんをいつもまんやかに

区議団控室：5803-1317 (直通)

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/でもご覧いただけます》

区内各施設を訪問
お話をうかがっています

次の区議会は6月からです。

区議団はこの時期を利用して、既報のように2日かけて愛知県に福祉、教育現場を視察しました。

その後、先月末から、特養ホーム、保育園、育成室、区立中学校、など区内の各施設にうかがい、利用者の実態や問題点、区への要望などを手分けして聞いています。

私は先週、区内の認証保育園を初めて訪問しました。

「定員いっぱいになっても採算が取れるかギリギリの状況です。東京都と区からの補助金の上乗せが必要ですね」などの実情も伺いました。また現場で



柳町第二育成室

がんばるみなさんの雇用問題も大きな問題だと実感しています。

韓国映画
「光州5・18」

民衆に襲いかかる軍隊に向い、銃より強いものがある。それは人間だ！

「光州5・18」という映画を観ました。連休中に「韓国現代史」という本を読んだ直後でしたのでタイムリーでした。28年前の5月、韓国南部の光州市でおきた「民主化運動」を初めて正面から題材にした事実をもとにした映画です。

600人を超えるそうです。しかし民主化を求めた運動はその後には大きな影響を与えませんでした。民衆の発した右の言葉は忘れられません。



住民に銃を向ける軍隊

歴史としては知っていたものの、軍が学生、住民に「暴徒」の烙印を押し無差別に銃を向ける光景には、身震いがしました。事件での死者は

「孤独死・待機児・妊婦健診負担 放置自転車 4つのゼロ」を提案

狛江市長選挙の支援に行きました

4期目に挑戦する日本共産党の矢野ゆたか狛江市長。国の悪政の中で福祉、教育の充実をはかるために地方自治の手本になるような行政を進めています。

来月が市長選。14日は朝からの雨の中、高畑・板倉区議と一緒にハンドマイク宣伝の支援に行きました。

人口も面積も小さな市です、路地裏の辻々で3人交代にマイクを握り、午後3時過ぎまで30か所まで宣伝しました。政治の流れを変えるため必勝！



撮影は萬立です。

まんぢん日記

8日 かこまち保育園に訪問。夏の水遊びのときはビニールプールの組み立て遮

光の準備と職員は目の回る忙しさだそうです。ちよつと散歩を楽しむ子どもたちに会い、その笑顔に思わず見とれました。

夜、第二中学校の「歓送迎会」出席。お世話になった先生方と久しぶりに挨拶。

9日 区内の認証保育園2園を訪問してお話を聞きました。現在3園ですが、この夏も一つか所、本郷に開園します。

10日 夜、地元の町会の定期総会。私もできる範囲で町会の仕事をお手伝いします！

13日 午後、教育委員会を傍聴。「岩井健康学園」の今後のあり方を検討しています。児童減少は確かですが、「コスト論」が前面に出すぎて気になります。